

# 海況情報【内湾湾口観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

令和6年9月10日

【観測結果（調査日：9月4、5日）】

9月4日に伊勢湾、5日に渥美外海の観測を実施しました。

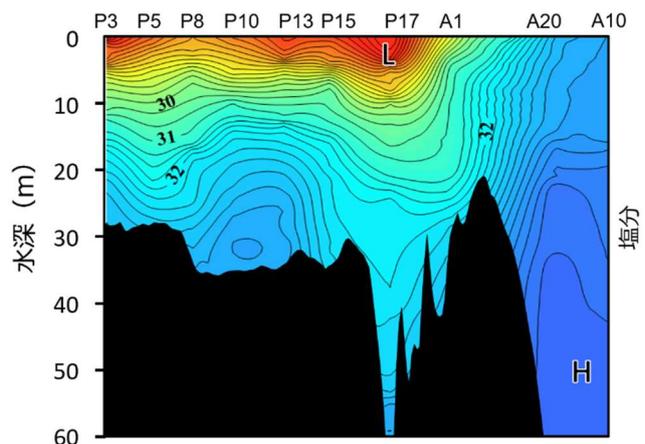
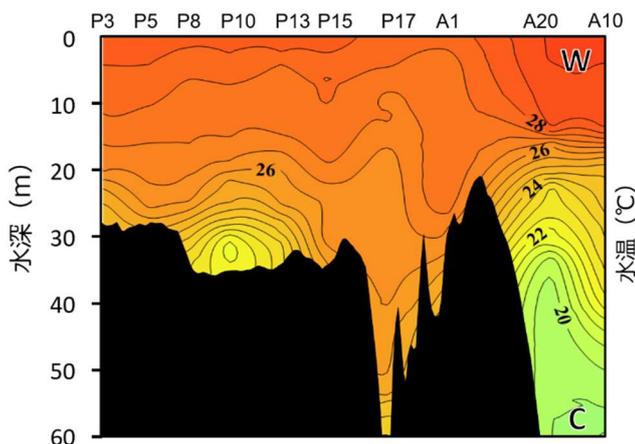
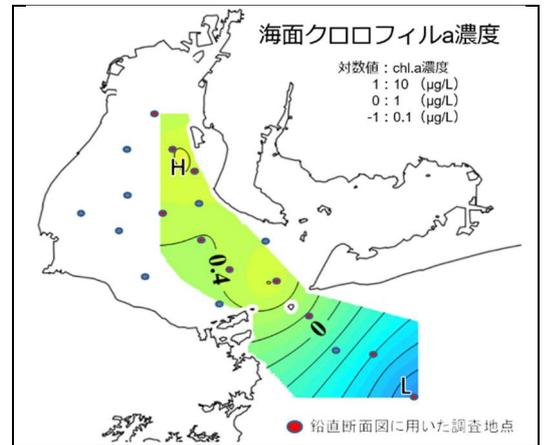
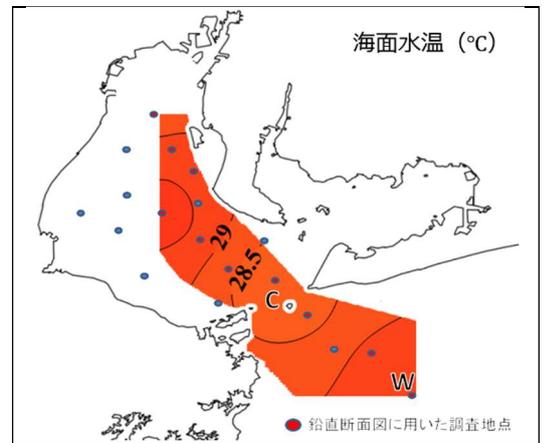
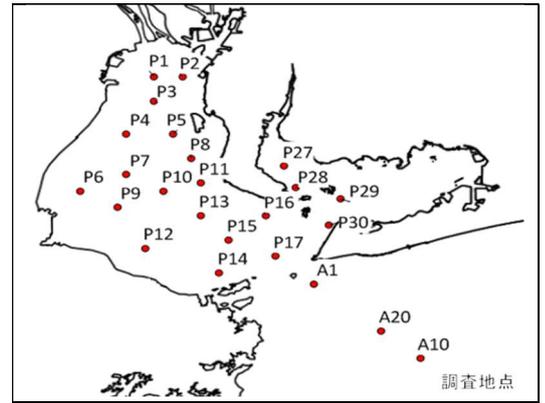
【水平分布（調査点：P3～A10）】

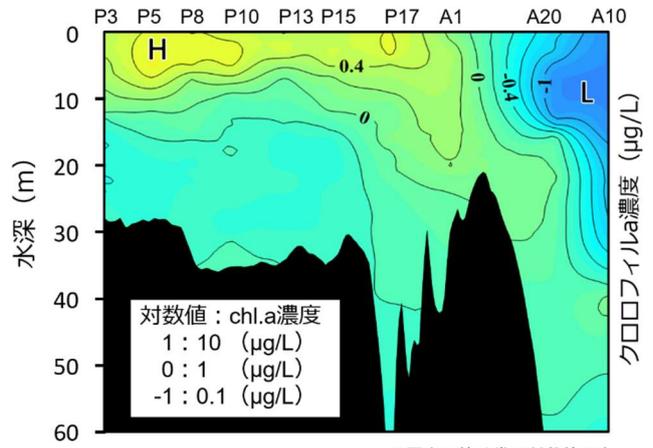
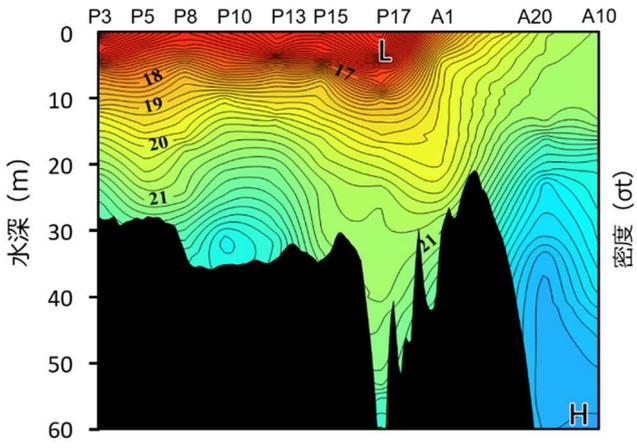
海面水温は、日射と気温の上昇の影響により内湾の湾奥が最も高く、潮流が強いために鉛直混合が生じやすい湾口付近で最も低くなっています。

海面のクロロフィル a 濃度は、湾中央と湾口付近で高くなっています。

【鉛直分布（調査点：P3～A10）】

日射と気温上昇、河川水の流入によって伊勢湾の表層は、高水温かつ低塩分の軽い水が分布しています。そのため、成層が強まり、海水が上下で混ざりにくくなったことで、酸素供給の乏しい湾奥～湾中央（P3～P13）の水深20m以深に貧酸素水塊（溶存酸素濃度30%以下）がみられます。また、渥美外海では低水温・高塩分の水が海底に沿って湧昇しており、水深30m以深でクロロフィル a 濃度が高くなっています。





※図中の値は常用対数值です

